

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公開番号】特開2010-251502(P2010-251502A)

【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2009-98949(P2009-98949)

【国際特許分類】

H 01 S 5/022 (2006.01)

【F I】

H 01 S 5/022

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月28日(2012.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

板状のシステムと、

前記システム上に底面が載置された柱状のサブマウントと、

前記サブマウントの側面上に設けられ、発振波長の異なる複数のレーザダイオードと、

前記システムを貫通して設けられ、前記サブマウントの側面の稜線に対向する位置に配置されたリードピンとを備え、

前記複数のレーザダイオードの発光点から前記システムの中心軸までの距離がすべて実質的に等しいことを特徴とする多波長半導体レーザ装置。

【請求項2】

前記サブマウントは正多角柱状であることを特徴とする請求項1に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項3】

前記サブマウントは正三角柱状であることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項4】

前記リードピンは、前記サブマウントの中心軸に對して回転対称であることを特徴とする請求項1ないし請求項3のいずれか1項に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項5】

前記サブマウントの中心軸と前記システムの中心軸とが一致することを特徴とする請求項1ないし請求項4のいずれか1項に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項6】

前記複数のレーザダイオードの少なくとも1つは、2波長レーザダイオードであることを特徴とする請求項1ないし請求項5のいずれか1項に記載の多波長半導体レーザ装置。

【請求項7】

前記複数のレーザダイオードは、前記サブマウント側面の稜線近傍に配置されたことを特徴とする請求項6に記載の多波長半導体レーザ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この発明に係る多波長半導体レーザ装置は、板状のステムと、前記ステム上に底面が載置された柱状のサブマウントと、前記サブマウントの側面上に設けられ、発振波長の異なる複数のレーザダイオードと、前記ステムを貫通して設けられ、前記サブマウントの側面の稜線に対向する位置に配置されたリードピンとを備え、前記複数のレーザダイオードの発光点から前記ステムの中心軸までの距離がすべて実質的に等しいことを特徴とするものである。